

2024年2月14日

# キャリア構築という概念～リスキリングと比較して～

Abuild 総合研究所 所長 新井翔太

## “リスキリングはスキルの草木であり、 キャリア構築はそのための豊かな土壌である”

本レポートでは、キャリア構築という概念について説明し、ともすれば混淆されやすいリスキリングとの比較の中でより形を浮き彫りにしていく。近年リスキリングが求められている背景と地続きでキャリア構築が社会に必要な理由を述べていく。

### キャリア構築という概念について

キャリア構築とは、自ら自己分析やリサーチを通してベストマッチするキャリアを選択し、自ら能力を向上し続けられるような自走人材となることである。人生という文脈でロングスパンでキャリアを考え、能力的にも人間的にも成長し、自分の仕事も最適化しプライベートも充実させ人生を豊かにさせる概念である。キャリアを単に形成するのでも開発するのでもなく、自らのフレームワークを構え、自を築き、キャリアを構築するものである。

キャリア構築サービスで代表的な Abuild 就活は、ハイレイヤーの大学生向けの内定だけでなく社会人として活躍し豊かな人生を送るためのキャリア構築サービスである。ファーストキャリアからバックキャストし戦略的に就活を成功させ即戦力内定を実現する。就活を通して自身を成長させ、Abuild 就活のカリキュラムの中で「自身を成長させるプロジェクトのマネージャー」としてセルフマネジメント力（タスクマネジメ

ント、タイムマネジメント）を鍛える思想で運営されている。

### リスキリングについて

リスキリングとは、労働市場の変化や技術革新に対応し、個人が新しい業界や職種、業務に適応するために必要なスキルや知識を習得するプロセスを指す。リスキリングという概念は、特にデジタル化やオートメーション化が進む現代社会において重要視されている。

リスキリングにより、労働者は失業のリスクを減らし、キャリアの機会を広げることが可能になり、企業は変化する産業ニーズに合わせた人材を確保することができる。個人のキャリア発展だけでなく、社会経済の持続可能な成長にも寄与する重要な戦略と目されている。

日本政府もリスキリング支援として学び直しの補助や、スキルアップにより成長分野への労働移動を潤滑にすることで日本経済の成長を促す方針を示している。

### リスキリングが求められる社会背景

#### 技術革新の加速化

AI（人工知能）・ビッグデータ、ロボティクス、ブロックチェーン・Web3 といった新技術の登場と普及によって、必要とされるスキルセットが

大きく変化している。これらの技術は、新たなスキルでもあり、従来のスキルだけでは対応できない新たな専門的なニーズを生み出している。

## デジタルトランスフォーメーション

デジタル技術の進化により、企業はビジネスプロセスのデジタル化やオンライン化を推進している。ITをはじめとしたデジタルスキルやデータ分析能力が重要なスキルセットとなっている。

## 持続可能な発展へのシフト

SDGs が企業の命題にも昇華されてきたように、環境保護や持続可能な開発への関心が高まっている。環境に配慮した製品やサービスに対する需要が増加している。このトレンドに対応するため、環境関連のスキルや持続可能なビジネスモデルに関する知識や対応が求められている。

## 経済と雇用市場の変化

グローバル化が進み、企業はより効率的でコスト対効果の高い運営が必須となった。産業の栄枯盛衰も激しい VUCA 時代である。これらの要因により、特定の地域や産業における雇用機会が減少し、新しいスキルを必要とする分野への転職を余儀なくされる人が増えている。

## 労働人口の高齢化

日本をはじめ多くの先進国で労働人口の高齢化が進展しており、働く人々が新しい技術や方法に対応するために、キャリアの中盤や後半でリスキングが必要になっている。

## キャリア構築が社会に必要な理由

リスキングで述べた社会背景に加えて、「大きな物語の終焉」がある。リオターールのポストモダ

ン論にも通ずるところもあるが、キャリアのモデル像が解体された時代である。良い大学に行って、大企業に就職すれば安泰という時代は過ぎ去ろうとしている。

代わりに「小さな物語の欠片が散らばった時代」ではなかろうか。働き方改革や副業、リモートワーク、ワーケーションなど、オフィスで月曜から金曜まで画一的に働くという働き方も変わってきている。同じ職場で 40 年間働くのではなく、多様な選択肢をもって転職を繰り返し、キャリアアップをしていく在り方も市民権を得ている。それが故に誰もが目指す大きなモデルケースのような正解がない時代である。それ故に自分でキャリア構築していくことが重要なのである。

## キャリア構築とリスキングの関係性

キャリア構築やリスキングが必要なバックグラウンドについては上記で論じた通りだが、キャリア構築とリスキングの関係性を明確にしていきたい。

## 外的と内的

リスキングは外的要因に起因し対応するものである。転職時やキャリアアップを狙うという外部環境の変化に伴って必要となるものである。また短期目標として特定の具体的なスキルを獲得することに焦点が当てられることが多い。

キャリア構築は内発的動機をレバレッジさせていくものである。自分自身がどのように生きたいのか、何を為したいのか、どのような能力をつけたいのか、どのように社会から必要とされたいのかを長期的にかつ総合的に築き上げることだからである。

自己実現と職業的充足の両面を図るものであり、プライベートと仕事の両面の充実を目指すものである。

## 能力と能力の能力

リスキリングが一つの能力を新しく身につけていくことだとするならば、キャリア構築は「能力をつけるための能力」である。レバレッジがかかる能力の為の基礎能力（ベーススキル）だと言える。

喩えると、リスキリングがスキルの草木を育むことであり、キャリア構築がそのための豊かな土壌を耕すことである。

キャリア構築という肥沃な土壌があることによって、新しく挑戦して新規スキルを身につける際にも効率よくリスキリングを完遂することができるのである。



## 結び

キャリア構築をリスキリングと比較することで各々の目的やスコープの違いを炙り出してきた。現状の日本では、リスキリングは声高に叫ばれているが、キャリア構築という概念は残念ながらまだ浸透していない。

リスキリングの前にキャリア構築という確固たる土台を作っておくことが最も重要であり、リスキリング自体の効果を最大化することにも繋がる。

Abuild 総合研究所 所長 新井翔太